



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



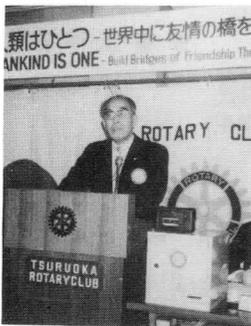
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員69名 出席56名 出席率81.16% 前回出席率86.96% 修正出席65名 確定出席率94.20%

ガバナースピーチ

年頭の挨拶

ガバナー 石黒 慶之助 君



明けましておめでとございます。当クラブ創立以来第24回目の新年であります。皆様と共に元気で新年を迎えることができました。心から慶んでおります。

昨年は皆様大変ご心配をかけ、ご迷惑をおかけしましたが、ごらんのように健康も快復し、後半の任務に自信を持てるようになりました。後程、恒例のように年男会員の力強いスピーチを拝聴できると思いますが、私も猪歳生れの方々に負けずに頑張りたいと心を新たにしております。

年度後半には、公式訪問が7R.C.、地区諮問委員会が3回、分区代理の研修会が2回、更にガバナー連絡会議、米山奨学生の選考、財団奨学生の選考、日韓親善会議、ライラ研修会と続き、次年度のためのI.C.M.と地区協議会を開催することになっております。これからは例会には仲々出席できないと思いますが、よろしくご支援下さいますようお願いいたします。

私共の周囲には国際摩擦とか世界的な経済不況とか、憂慮すべき難問題が山積しております。ロータリーは世界を匡正するような力は何も持っておりません。しかし皆様の善意と友情は地域社会の発展に寄与し、国際理解を深め、世界平和に大きく貢献しております。年末から正月にかけ私の所には海外より多くの賀状が来ております。交換学生のジェームス君、ダイアン嬢、或は米山奨学生だった蔡君、エテバリ君を始め海外のガバナーや知人から多くのお便りをいただいております。われわれのまいた善意の種子は世界中で花を咲かせております。善意と友情こそ人生の宝であると思います。

新年に当り、向笠会長ご夫妻のご健勝を祈念すると共に「人類はひとつ…世界中に友情の橋をかけよう」のテーマを再認識して、更に奉仕の輪を広げたいものと考えております。

新年に当り、謹んで皆様のご健勝とお仕事のご繁栄をお祈り申し上げます。

年男スピーチ

大森 健司 君



昨年2月12日当地に赴任して1年。春3月、玉川の水芭蕉、4月I.C.M.での鶴岡城址の桜、温海川の桜残雪の月山や湯殿山の本宮や112号線の紅葉。この紅葉は箱根や日光の紅葉のように排気ガスで汚染された色と違って、ほんとうの紅葉の色が味わうことができました。

この素晴らしい庄内を今年は多くの人にP.R.をしてゆきたいと思えます。会社のイベントをはじめ、できるだけ多く庄内でイベントを組むべく努力したいと思います。また本年も続きます「紅葉の山形路」のPART IIについても、積極的にご協力したいというのが、私の会社のP.R.を含めた仕事の願望です。

私も47年を省みて、間一発で助かった経験を何度かしています。先ず、戦時中浅草に住んでおりました時、宮城県松島へ集団疎開しました。東京の家は昭和20年3月10日の大空襲で全焼。その半年前に肋膜炎を患い、松島から東京の親元へ帰されました。大空襲の3月10日の半月前、東京に居たがる母を説き伏せ、父の実家の埼玉へ疎開して命拾いをしました。その時東京にいたら、いつもの空襲の時のように近くの国民学校の地下壕に避難していたのであろうかと聞いてみると、その地下壕はあの空襲で全滅でした。

二番目は高校3年の時。修学旅行で関西へ行きました。比叡山の根本中堂から坂本まで地上ケーブルで下りました。中間地点の複線から単線に移るポイントで脱線。すぐ10m先は谷底。80mの欄干のない鉄橋で、片側車輪は枕木をガタガタイわせながら、鉄橋の真中で手動ブレーキで止まりました。脱出するとき、線路脇の巾20cmの板の上を歩いて事なきをえました。

三番目は昭和50年、エアーマニラのボーイング707機に乗り、鹿児島上空でエンジン故障で失速。その時は顔の皮がつっぱりました。

以上、他からのインパクトによる恐怖ですが、自分でも、自ら招いた恐怖を何度か経験しております。例えば、車をグリーンベルトに乗り上げたり、スキーの検定で、直滑降で下り、危うく大木にぶつかりそうになって転んで止ったり、警報器が鳴っている踏切に突込み、フロントガラスに遮断機があたったりと、いろいろやっています。

庄内空港の建設を推進しましょう

今年は、月山へヘリコプターで登り、頂上からスキーで降りたり、県内の鄙びた温泉を少くとも10カ所位まわってみたいと考えております。あと、共食いになりますが、はじめての猪肉を食べてみたいと思っております。

藤川 享胤 君



一昨年の暮、私がかつて住職をしていたアメリカの桑港寺再建のため、私が日本の桑港寺再建支援事務局長を仰せつかり、全国を勧募しているわけでありました。このことで皆様大変ご迷惑をかけておりますが昨年未で約2,800万円集めました。

今年の10月末、アメリカで落慶法要をするために、もう5,000万円をどうにか集めたいと頑張っているところであります。

おかげさまで、昨年12月13日、読売新聞夕刊の社会面トップに「若い僧 米国に寺院建立のために日本全国行脚」という記事で大きく取り上げて頂きました。その反響が非常に大きく、全国のいろんな方から電話を頂き、「頑張ってくれ」との励ましを頂きました。いかにマスコミの力が大きいかということをお願いしております。

今年一年、このことに私は邁進してゆきたいと思っております。

さて、十二支があって、その年に生れて、その動物と性格が似ているということについては何ら科学的根拠がないと思いますが、私の場合、体格からいって「藤川さん何年?」「亥年です」「さもありません」といわれます。体格だけでなく、皆さんの私を見る目が、猪突猛進と申しましょか、前に向かってバリバリやっけてゆくというイメージでいって下さるのかも知れませんが、私自身は内向的で、人見知りをして、はにかみの部分があると思っています。

(笑)でも皆さんの受ける印象がそうではないのご批評を受けております。

今年もっと控え目に、内向的な藤川享胤でありたいと思っております。と申しますのは、私が非常に尊敬しております静岡のご老師が、私が修業して帰る時に、こんなはなむけの言葉をくれました。

「退くものは覚者なり 退くべきが覚者なり」

おそらく私の性格を見通していったと思います。人生で退くことは負けでなく、退くことにより他に何かを教えられる人間になれ。特に私の仕事柄からそういう奥深い人間になれとの餞別であったと思えます。

読売新聞に私の今の気持ちをズバリ言ってくれた歌が載っておりました。上野寛永寺の開山、天和和尚が詠んだ歌です。すばらしい歌です。

「気は長く つめは堅く 色うすく 食ほそうして 心ひろかれ」

この歌に感動しました。少しでもそうなるよう、今年懸念に努力していくつもりです。

会長報告

中江 亮君

皆さんあけましておめでとうございます。昭和58年の元旦は1982～83ロータリー年度の後期の始まりであります。前期は地区年次大会のホストクラブをつとめ、輝かしい活動の実績を残されたのでありますが、あれから3ヶ月を過ぎお疲れもとれ、油がのっている現状に於て愈々各委員会本来の奉仕活動に本腰を入れていただけましたらありがたいと思います。皆様が年度の当初に計画された奉仕活動のプログラムが、年度の最終に於て完遂されたものでありたいと期待しています。特に1月18日には石黒ガバナーの公式訪問が行われますが、各委員長さんは石黒DGの厳しい要請に充分応えられますよう準備を進めていただきたいと思います。本日はS.A.A.のご配慮により荘内神社に皆さんの健康を祈願したご神酒を頂戴しました訳ですが、どうぞお体に充分気をつけられて活動されますようお願い致します。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 年賀状到着

- 台中港区R.C. 陳 宗耀氏
- 廖 登稔氏 (前米山奨学生)
- 本間利雄氏 (前G.S.E.)
- 石黒慶之助ガバナー
- R.I.第253地区I.A.小委員会
委員長 過足(ヨギアシ)正一氏
- R.I.第253地区
ガバナー・ノミニー 田中善六氏
- 社会福祉法人思恩会
- 温海R.C. ○酒田R.C. ○酒田東R.C.

2. 今年の年男紹介

佐藤 忠君・斎藤 隆君
大森 健司君・藤川 享胤君

出席委員会

佐藤順治君

◎年間皆出席

23年間皆出席 張 紹淵君
22年間皆出席 嶺 岸光吉君
〃 三井 徹君

12月100%出席 55名

親睦活動委員会

迎田 稔君

会員誕生 板垣俊次君、三井 健君、
玉城 俊一君、吉動 勲君

奥様誕生

川村友子(徳男)様、今野泰子(清一)様、
庄司志津子(嘉男)様、鈴木 勝(茂男)様、
津田満理子(晋介)様

ロータリー財団委員会

佐藤 衛君

新春早々会長の中江亮君、阿部与十郎君よりポール・ハリス準フェローとなるご寄付を頂きました。これで、今会計年度8名の方が準フェローになりました。

ビジター

鶴岡西R.C. 佐藤 拓君、斎藤 健治君
石黒慶之助ガバナー (今週の担当者 中江 哲夫)